

太原で感じたこと

神谷俊之

3月の後半から暖かくなったと思ったら、最近なぜかまた寒い日が続いています。中国人の友達が「太原の天気は、大体暑いか寒いかだよ」と教えてくれました。確かにその通りで私は春の心地良い天気が少し恋しいです。

ついこの前、大学の近くの大きな通り沿いにある多くのお店が取り壊されました。壊される前にその道沿いにあるお店は、道端で商品を並べて商売をしていました。しかも多くの人で賑わっていて、私は何かイベントでもあるのですか？と中国人の友達に尋ねたところ友達は、ここの道沿いにあるお店はこれから壊されるから、お店の人たちは商品を早く売りたいと道端で商売をしてると教えてくれました。私はなぜ壊されるのかと聞いたら、道を広くするためと言われました。友達の話によると最近太原の市長が変わり、市長は以前山西省大同の市長で彼のおかげで古い建物が取り壊され、今大同は綺麗になったと教えてくれました。そして今彼は太原の市長になり大同と同じように古い建物などを取り壊し、街を綺麗にしようとしているのだと。私はお店の人たちはそのことに同意しているのかと聞いてみたところ、同意をしてない人もいると答えました。

私はこの話を友達とした後とても衝撃を受けました。市長が街をもっと綺麗にするためにやっているのは分かるが、同意もなしに取り壊してしまうのはとても考えられないと思いました。今中国の経済は著しく発展しておりこれからがとても楽しみです。このようなことは改善していくべきだと私は思います。

最後に3月の後半に山西大学の留学生と一緒にバーベキューをしに柳林河(リウリンフー)という場所に行きました。柳林河へは電車で太原から大体1時間ぐらいで着きます。着いた駅からバーベキューをする場所までは、山を登ったりなどして、大体1時間半ぐらいも掛かりました。とても長い道のりで途中に急な坂などもあり着いた時にはお腹も減り、また疲れも溜まっていたので、バーベキューの食べ物はとてもおいしかったです。次は留学生の友達と念願の音楽フェスに行く予定なので楽しみです。



バーベキューをしている時



柳林河での集合写真